

鑑賞教材をつかって

## 🗨️ 展開例

### めあて

- 【図工】・《二人の少女》を鑑賞し、自分が見つけたこと感じたことを伝え合うことができる。
  - ・友達との感じ方のちがいを認め合う。
- 【道徳】・小磯さんの絵と美術館の人の話から道徳的に変化するまさおくんを通して、家族に愛されている喜びを感じるとともに、家族を愛し、家族の役に立つ喜びを知る道徳的心情を育てる。

### 図工科の活動

- ・二人の少女の関係や、様子から二人の気持ちや何を話しているのか、などについて考える。
- ・二人のお父さんが画家であることを伝え、なぜ自分の子供を描いたのか想像する。

### 道徳科の活動

- ・主発問「どうして、まさおくんは、そっとお弁当を見たのでしょうか？」

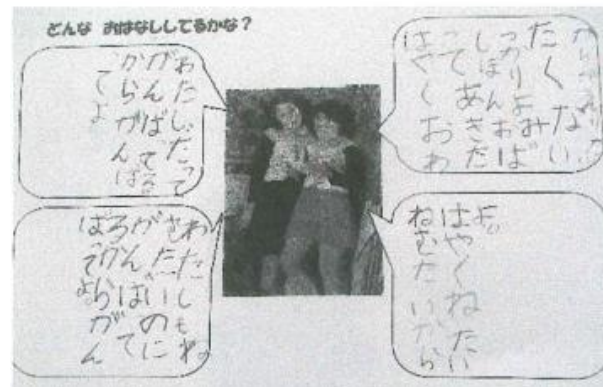
## 🗨️ 授業の様子とワークシート・感想



ぼくも、私も言いたい！



赤いスカートの女の子  
になりきって  
「もうしんどいよ〜」



「ねむたいから はやくねたいよ。」  
「わたしもねむたいのにながらがんばってるからがんばってよ。」

- ・たくさん自分の思っていることを発表できて、楽しかったです。美術館に本物の絵を見に行きたいと思いました。
- ・初めて見た絵のことがくわしくわかってうれしかったです。
- ・美術館には、ほかの本物の絵がたくさんあるので、お父さんにつれて行ってほしいと思いました。他の絵も見たくまりました。

## 🗨️ 今回の取り組みについて

- ・初めに作品の鑑賞を行うことで、「どんなことを言っても大丈夫」という安心感や、互いのよさやみんなで学ぶ楽しさなどについて感じ取っていた。
- ・絵の描かれた背景や小磯さんの思いを自分なりに感じ取ったことで、自然に道徳の授業につながり、主人公の気持ちの変化や保護者の思いなど、深く読み取ることができていた。
- ・1・2年生は、美術館に行ったことのない児童もいるため、事前に鑑賞を取り入れることは有効であった。また、美術館を訪れる前にこの単元を学んだり、道徳で学んだ後に校外学習で美術館を訪れたりすることも有効かと思われる。